

組 番 氏名

➤ データを賢く分析しよう①

課題1 今回のミッションを知ろう

今回学ぶのは、情報を注意深く分析する方法です。文章やデータの意味や、どれくらい信頼性があるのか、読み解く力をつけるのが目標です。

みなさんにとっても、先生にとっても、大きなチャレンジです。楽しんでいきましょう。

課題2 グループで2つの文章を分析しよう

ある調査結果について、「財務省事務次官」と「文部科学省事務次官」がそれぞれ意見を発表しています。意見の違いと、その理由を考えてみよう

ステップ0：役割分担 司会（ ） 書記（ ）・（ ） 発表（ ）

ステップ1：2つの意見を整理します
付箋に書いてワークシートに貼ります

- 2人の意見で、一致しているところ
- 2人の意見で、違っているところ
- どちらかだけが、主張していること

ステップ2：意見が違っている理由（どうして2人の意見が違うのか）を考えよう

自分が考えた 「違っている理由」	
---------------------	--

ステップ3：グループで違っている理由を考えよう
出てきた意見を、黄色の付箋に書いて貼ろう

自分達が考えた 「違っている理由」	
クラスの考えに名前 をつけると	

課題3 自分の中のバイアスを知ろう

課題4 情報の中のバイアスを見破ろう

新聞記事を読んで、信じられるかどうか考えてみよう

	信じられる？	理由
あなたの考え		

みんなの考え		
先生の考え		

課題5 振り返り

バイアスについて理解することができた・・・・・・・・・・(5 4 3 2 1)

情報の中のバイアスを見つけることができた・・・・・・・・・・(5 4 3 2 1)

2つの文章の違いを分析することができた・・・・・・・・・・(5 4 3 2 1)

バイアスについて理解できたことを書いてください

--

今後、情報を受け取る時はどんなことに気をつけようと思いますか

--

ある新聞記事より引用

次のような世論調査を行った。

「東日本大地震から日本列島は地震の活動期に入ったと言われていいます。

そのような中での、原子力発電所の再稼動にあなたは賛成ですか？」

賛成 . . . 27%

反対 . . . 58%

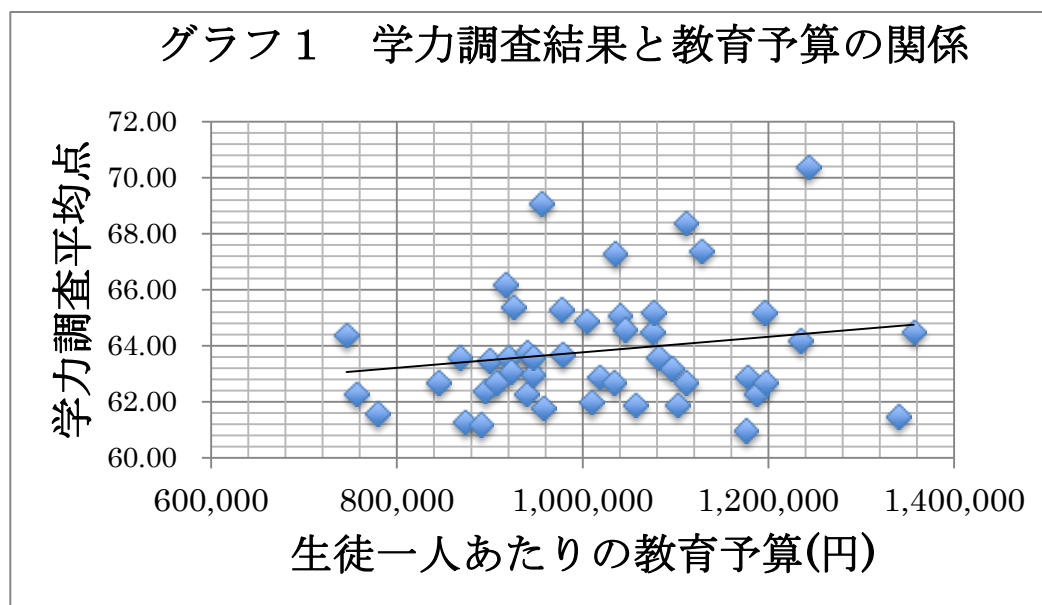
どちらともいえない . . . 15%

今回の世論調査により、まだ過半数の国民は、原子力発電所の再稼動に反対していることがわかった。このように多くの国民が不安を抱えているのだから、再稼動を急がないほうがよいのではないだろうか。

文部科学省は、学力と教育にかけている税金の関係についての調査結果を発表した。県ごとの「生徒一人あたりの教育予算（税金を教育の分野に使っている額を生徒1人あたりに換算した額）」と「全国学力調査の平均点」の相関を調べたものです。

表1

都道府県	生徒1人あたりの教育予算(円)	学力調査平均点
神奈川県	756,214	62.3
静岡県	745,708	64.4
東京都	976,925	65.3
島根県	1,339,569	61.5
長野県	978,186	63.7
・・・	・・・	・・・
全国平均	939,593	63.8



財務省事務次官の意見

表1やグラフ1に見られるように、全国学力調査の結果と、その自治体が教育にかけている税金には相関が見られなかった。相関係数は0.2であり、弱い相関があるというよりは、ほとんど相関がない。予算が最低ランクの県でも、全国平均と点数がほとんど同じである。

これは、教育に税金を投入するのは無駄なことを表している。やる気がない生徒にいくらお金をかけても無駄だし、やる気がある生徒は税金をかけなくても学力を伸ばす。そういうことだ。

文部科学省事務次官の意見

表1やグラフ1から、教育に使っている税金と、学力には相関があることがわかる。相関係数は0.2とあまり強くはないが、確かにある。

学力は、家庭の状況などいろいろなことが関わるため、税金を使えばすぐに学力が伸びるわけではない。しかし、全体としては税金を使うほど学力が伸びることを、この結果は示している。

やはり、学力を伸ばすためには、教育に税金をたくさん使う必要がある、ということだ。